

## 第 4 章

### 保健福祉業務関係



## 第4章 保健福祉業務関係

### 1 母子保健

#### (1) 小児医療援護

##### ア 小児慢性特定疾病医療費支給認定

小児慢性特定疾病に指定されている疾病にかかっている18歳未満(継続申請に限り20歳未満)の児童が、指定医療機関で治療を受けたときの費用を支給した。(保護者の所得に応じた自己負担金を医療機関において支払)

(単位:件)

疾病	計	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	皮膚疾患
市町名															
平成26年度	87	13	14	2	21	21	2	6	2	1		2	3		
平成27年度	77	8	10		20	19	2	6	2	1		5	4		
南足柄市	30	3	2		5	13	2	2	2			1			
中井町	5	1			2			1					1		
大井町	15		1		6	3				1		2	2		
松田町	6	2	2		1			1							
山北町	5	1	1		1	1							1		
開成町	16	1	4		5	2		2				2			

##### イ 不妊に悩む方への特定治療支援事業(経由事務)

県等の指定した医療機関で、特定不妊治療(体外受精または顕微授精)を受けた夫婦から、治療費の助成の申請書類を受理し、内容を確認のうえ、県健康増進課あて送付した。(助成限度額の範囲内で、治療費の全額または一部を助成)

	申請者数	申請延件数	助成延件数
計	58	100	100
南足柄市	18	30	30
中井町	3	5	5
大井町	12	19	19
松田町	8	13	13
山北町	2	4	4
開成町	15	29	29

## (2) 養育支援事業

疾病等により長期にわたり療養を必要とする児や未熟児等による養育上の課題を持つ児及びその保護者等が地域で健康的な生活をするために、関係機関と連携し適切な支援を行うことで、児のすこやかな発育発達を促進させ、併せて養育環境を整えるために次の事業を実施した。

### ア 訪問指導

実数	延数
11	20

### イ 所内指導(電話相談、面接等)

	実数	延数
小児特定疾病	60	69
その他	114	211

### ウ 子ども発達専門相談

発育・発達面で課題があり、療育及び養育上支援を必要とする乳幼児及び保護者に対し、医師、歯科医師、心理相談員、理学療法士、歯科衛生士、管理栄養士、保健師等による指導を行うことにより、疾病・障害等の早期発見・回復及び適切な療育の確保を図った。

(単位:件)

		開 催 回 数	6
来所者数		実 数	29
		延 数	60
	把握契機 (実数)	セナイ 足柄上	小 児 慢 性 特 定 疾 病
長 期 療 養 児			5
そ の 他			7
市 町		未 熟 児	3
		そ の 他	12
医 療 機 関		0	
そ の 他		0	
相談目的 (延数)	成 長	57	
	発 達	59	
	疾 病	9	
	栄 養	14	
	生 活	34	
	未 熟 児	0	
	養 育	12	
	そ の 他	41	
処遇 (延数)	終 結	6	
	再 受 診	48	
	家 庭 訪 問	0	
	電 話 確 認	0	
	医 療 機 関 紹 介	1	
	市 町	3	
	そ の 他	2	

## エ 聴覚専門相談

聴覚障害を早期に発見するとともに、児の言語発達への不安を持つ保護者のサポートや児の早期療育に向けた支援を行うため言語聴覚士による相談指導を実施した。

開催回数	相談者数		相談契機			処遇			
	実数	延数	市町	幼稚園等	保護者	終結	再予約	医療機関紹介	市町
4	9	13	7	2	0	2	7	3	1

## オ 集団指導

医療的ケアを必要とする児の交流会

医療的ケアを必要とする児と保護者を対象に、参加者同士、育児に関する悩みや思いを共有し、交流を行うことで、育児不安やストレスの緩和を図る。

対象: 医療的ケアを必要とする児とその保護者

開催日	内容	スタッフ	参加者数
平成 27 年 5 月 14 日	ふれあい遊び 交流会	保育士・保健師・管理栄養士 歯科衛生士	4 組 7 人 (児 1, 母 4, 兄弟 2)
平成 27 年 7 月 29 日	ふれあい遊び 交流会	保育士・保健師・管理栄養士 歯科衛生士	10 組 20 人 (児 7, 母 10, 父 1, 兄弟姉妹 2)
平成 27 年 10 月 14 日	ふれあい遊び リハビリのお話、交流会	保育士・保健師・管理栄養士 歯科衛生士、理学療法士	8 組 16 人 (児 8, 母 8)
平成 27 年 12 月 17 日	クリスマス会	保育士・保健師・管理栄養士 歯科衛生士	7 組 14 人 (児 6, 母 7, 兄弟姉妹 1)
平成 28 年 3 月 3 日	ふれあい遊び 食べ方のお話、交流会	保育士・保健師・管理栄養士 歯科衛生士	8 組 14 人 (児 4, 母 8 兄弟 2)
計 5 回			実 16 組 34 人 延 37 組 71 人

## カ 養育又は養育体制の整備

養育上の課題を持つ児及びその保護者等が地域で健康な生活をするために、医療・福祉等の関係機関と連携し、養育環境を整え、人材の育成や必要な資源の開拓等を行う。

(小田原保健福祉事務所、小田原児童相談所と合同開催)

開催日	内容	講師	参加者数
平成 27 年 8 月 14 日 8 月 27 日 9 月 10 日	「コモンセンス・ペアレンティング (CSP) 体験研修」 1 日目: わかりやすいコミュニケーション 2 日目: 良い結果・悪い結果 3 日目: 効果的な誉め方	小田原児童相談所・開成町・大井町 職員 (コモンセンス・ペアレンティング トレーナー養成講座受講済み職員)	延 30

(小田原保健福祉事務所と合同開催)

開催日	内 容	講 師	参加者数
平成 27 年 11 月 16 日	小田原市小児科医会例会 講演会 「法医学からみた子どもの虐待～身体的虐待やネグレクトの兆候に気づき・つなぐために～」	横浜市立大学医学部医学科 法医学教室 南部 さおり 氏	47
平成 28 年 2 月 23 日	小田原市立病院と母子保健担当者連絡会 「ハイリスク妊産婦の産前、産後のメンタルヘルス～母親支援のあり方」	北里大学看護学部看護学科 准教授 新井 陽子 氏	18

キ ハイリスク母子支援研修

疾病や障がいを持ち長期に療養を必要とする児の発育発達やその対応を理解し、母の精神面を支援することができるように管内の母子保健担当職員等を対象に研修を開催した。

(単位:人)

開催日	内 容	講 師	参加者数
平成 27 年 10 月 14 日	「運動発達を促す関わりについて」	西湘病院 リハビリテーション科 室長(理学療法士) 飯田員領 氏	16

ク 食物アレルギー予防等講演会

こどもの食物アレルギーの理解と対応について適正な知識の普及を図るため、管内小・中学校教職員、幼稚園・保育園職員及び母子保健担当職員等を対象に講演会を実施した。

開催日	内 容	講 師	参加者数
平成 27 年 7 月 31 日	第1回 「食物アレルギーの基礎知識と最近の治療法について」	神奈川県立足柄上病院 小児科医師 奥 典宏 氏	47
平成 27 年 8 月 28 日	第2回 「食物アレルギーとアナフィラキシー対応」 (エピペンの実習を含む)	神奈川県立足柄上病院 小児科医師 奥 典宏 氏	43

ケ すこやか親子担当者等連絡会

地域保健・母子保健の立場から児童虐待の未然防止に係る取組みを推進するために、所内関係者による連絡会を実施し、処遇検討や所内の体制整備等について検討した。

開催回数 3回

コ 子どもグループ活動(生活福祉課主催)

長期学校休業期間に実施している子どもグループ(被保護世帯における子どもの発達支援事業)への支援を行った。

計9回 118人

サ 妊産婦とその家族への禁煙支援事業

地域で禁煙をすすめる気運を高め、子どもたちがたばこの煙のない環境で生活ができることを目的に、平成 17 年度より 3 年間実施してきた事業成果をふまえ、平成 20 年度からは「たばこを吸わない世代を育てよう! 小さい頃から伝えよう たばこの正しい知識」をスローガンに禁煙の普及啓発を行っている。

27年度も継続して、管内幼稚園・保育園から協力を得て、幼児期への防煙教育の推進に係る普及啓発を行った。

内容	実施期間	内 容	参加者数等
普及啓発	平成 27 年 5 月 31 日 ~ 6 月 6 日	あしがら禁煙キャンペーンの実施 街頭キャンペーン 庁内でのキャンペーン ・展示: たばこに関する知識とオリジナルグッズ ・リーフレット、ゆらゆら金太郎、オリジナルメモ等の配布	街頭キャンペーン 700 部 がん検診普及啓発キャンペーン 120 部 合庁でリーフレット等を配布 60 部
	6 月 9 日 ~ 6 月 13 日	庁内及び管内市町イベントにて普及啓発資料の配布 ・あじさいまつり	リーフレット等の配布 800 部
	平成 27 年 9 月	ふじのくに健康長寿サミットでゆらゆら金太郎等の配布	ゆらゆら金太郎配布 134 個
	平成 27 年 5 月	管内保育園・幼稚園への普及啓発 在園年長児への防煙教育普及啓発用ぬりえ・リーフレットの配布依頼	管内幼稚園・保育園に配布 ぬりえ 1150 枚 リーフレット 1370 枚配布
	平成 27 年 12 月	平成 28 年分 禁煙金太郎カレンダー配布	管内全幼稚園、保育園、 子育て支援センター、各保 健福祉事務所・センター 1 市 5 町に配布 (71 部)
	常 設	・たばこに関する情報掲示 (ゆらゆら金太郎、ぬりえ、 オリジナルメモ、メッセージ集配布) ・所内のぼり旗の設置 所内ホームページの更新	
教育相談	随 時	各種母子保健事業において実施	
調査	平成 27 年 4 月	1 市 5 町において「足柄上地域妊産婦とその家族への 禁煙支援のための実態把握」(平成 20 年 4 月 ~ 開始) 平成 26 年分集計	母子健康手帳交付時 640 名 妊娠期間 664 名 育児期間中 ・3 か月児健診時 664 名 ・1.6 歳児健診時 678 名 ・3 歳児健診時 803 名
研修	平成 28 年 3 月 9 日	母子保健担当者研修 「妊産婦とその家族への禁煙支援事業の評価につい て ~ 平成 20 年度から 26 年度の傾向分析」 講師 東海大学医学部基盤診療学系公衆衛生学 非常勤准教授 渡辺 良久	11 名
関係機関会議	平成 27 年 6 月 26 日	第 1 回 子育て支援に係る担当者会議	1 部 11 名 2 部 21 名
	平成 27 年 9 月 18 日	第 2 回 子育て支援に係る担当者会議	1 部 14 名 2 部 10 名
	平成 28 年 3 月 9 日	第 3 回 子育て支援に係る担当者会議	11 名

### (3) 妊娠・出産支援体制づくり事業

妊娠、出産しやすい環境づくりのための周知啓発や、児童虐待のハイリスクである望まない妊娠等に焦点をあてた研修会を開催した。

開催日	内 容	講 師	参加者数
平成 27 年 10 月 23 日	乳幼児の運動発達の理解 ～基本的な発育発達の理解を深めるために～	元横浜総合リハビリテーションセンター 発達神経内科医 林万り 氏	11
平成 27 年 12 月 17 日	子育て中のあなたと大切な人のために、知っておきたいこと(メンタル・たばこ編)	医療法人社団碧水会 長谷川病院精神科医師 原田久 氏	30
平成 28 年 1 月 14 日	児童虐待予防に向けた妊娠期からの切れ目のない支援について	横浜市立大学医学部 医学科 法医学教室 助教 南部さおり 氏	59
平成 28 年 1 月 27 日	妊娠期からの切れ目のない子育て支援の重要性について	北里大学看護学部 生涯発達看護学 准教授 新井陽子 氏	18

#### (4) 母子保健委員会

保健福祉事務所及び管内1市5町が実施する子育て支援事業が円滑に行われるために、各機関の役割を理解するとともに効果的な連携について検討し、管内の母子保健施策の向上を図った。

##### ア 母子保健委員会

(単位:人)

開催日	内 容	場 所	委員数
平成28年1月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子保健活動の実施状況について</li> <li>妊産婦とその家族への禁煙支援事業について</li> <li>妊娠期からの切れ目のない子育て支援について</li> </ul>	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	14

##### イ 子育て支援に係る担当者会議

(単位:人)

開催日	内 容	場 所	参加者数
平成27年6月26日	第1部 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度母子保健事業について</li> <li>妊娠期からの子育て支援について</li> <li>妊産婦とその家族への禁煙支援事業について</li> <li>子育て世代包括支援センターについて等</li> </ul>	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	11
	第2部 <ul style="list-style-type: none"> <li>各所における今年度の母子保健事業について</li> <li>妊産婦とその家族への禁煙支援事業</li> <li>情報交換</li> </ul>		21
平成27年9月18日	第1部 <ul style="list-style-type: none"> <li>妊娠期からの子育て支援について</li> <li>妊産婦とその家族への禁煙支援事業について</li> <li>「食物アレルギー教室 食物アレルギーの治療について」小児科医長 奥 典宏</li> </ul>	足柄上病院	14
	第2部 <ul style="list-style-type: none"> <li>妊娠期からの子育て支援について</li> <li>養育支援連絡票の活用について</li> <li>妊娠 SOS かながわについて</li> </ul>		10
平成28年3月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>妊娠期からの切れ目のない子育て支援について</li> <li>今年度および次年度の母子保健事業の取組と課題について</li> <li>妊産婦とその家族への禁煙支援事業について</li> </ul>	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	11

## (5) 思春期保健事業

思春期の男女を対象として、思春期に特有の身体と性の不安や悩みに対する相談に応じるとともに、学校の養護教諭と連携し思春期にある男女の心身の健全な成長を図った。

### ア 思春期相談

(単位:件)

区分	計 (相談件数)	相談方法		相談者			計 (相談内容)	相談内容								計 (事後指導)	事後指導						
		電話	面接	本人	父母	その他		身体	性に関すること	妊娠	結婚	病	友人のこと	家族のこと	学校のこと		その他	助言指導	面接継続	電話継続	訪問継続	医療機関受診勧奨	他機関に紹介
計	7	7		1	6		11	1	1				6		3						1		3
男	小学生																						
	中学生	2	2		2		2						2										2
	高校生	1	1	1			1	1								1	1						
	その他																						
女	小学生	4	4		4		8	1				4		3		4	2				1		1
	中学生																						
	高校生																						
	その他																						

### イ 思春期保健研修会

管内の高等学校の養護教諭を対象として、地域と学校が連携を密に図りながら、思春期特有のさまざまな問題に対応するため、思春期保健に関する共通の課題に係わる専門的な知識について、小田原保健福祉事務所と合同で研修を行った。

開催日	内容	場所	参加者	参加者数
平成 27 年 11 月 13 日	・思春期保健における児童相談所の相談の現状とかかわり ・「望まない妊娠を防ぐために」妊娠・出産支援体制づくり事業について	小田原保健福祉事務所	県西地区高等学校・養護学校の養護教諭、児同相談所・保健福祉事務所・センター保健師	13

## (6) 生涯を通じた女性の保健相談等事業

### ア 健康相談

女性は女性固有の機能を有するため、特に、思春期から更年期にかけて各自の健康状態に応じ、生涯を通じた健康の保持増進に対する自己管理ができるよう支援を行った。

(ア) 一般相談 40 件

(イ) 専門相談 相談回数 3 回 9 件(平成 27 年 7 月 3 日、11 月 6 日、平成 28 年 3 月 4 日)

(単位:件)

件数	相談方法別			相談回数別(実人員)			相談者別		相談契機別			
	電話	面接	その他	初回	2回	3回以上	本人	他	広報	市町	当事業	その他
9		9		7	2		9		2	3	4	
区分	件数 (実数)	主訴別(延数)										
		妊娠	避妊	不妊	性	メンタル ケア	婦人科	更年期	性感染	泌尿器	その他	
計	11					8	2	1				
10歳代												
20歳代	2					2						
30歳代												
40歳代	5					4	1					
50歳代	2					1		1				
60歳代以上	2					1	1					

## イ 健康教育

正しい「妊娠・出産」「妊娠適齢期」「女性特有のがん」「喫煙の害」など、正しい知識と情報を提供すると共に、将来を見通しライフプランを考えることができるよう普及啓発を図った。

実施日	実施場所	対象	参加者数	備考
平成27年 4月17日	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	看護学生・栄養学生・ 歯科学生	35名	男3名 女32名
平成27年 6月4日	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	子育て中の女性等	72名	男0名 女72名
平成27年 6月26日	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	子育て支援センター職員 等	21名	男0名 女21名
平成27年 8月17日	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	思春期の子ども、ボランテ ィア	15名	男2名 女13名
平成27年 8月28日	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	保健師学生	1名	女1名
平成27年 9月4日	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	看護学生・栄養学生・ 歯科学生	42名	男8名 女34名
平成27年 12月4日	小田原保健福祉事務所 足柄上センター	保育士・幼稚園教諭等	20名	男2名 女18名

## (7) 子ども未来コーナー(子育て情報コーナー)

当所が保有している母子関係の保健・福祉データや書籍等について、「子ども未来コーナー」(子育て情報コーナー)として設置し、従来からの保健指導だけでなく、書籍を通じた子育て支援を行った。

- ・場 所 足柄上合同庁舎玄関ホール
- ・内 容 母子関係の一般書籍、絵本、月刊誌(チャイルドヘルス)、「慢性疾患の親の会」  
等の会報
- ・対 象 一般県民
- ・貸 出 一人一冊、貸出期間:2週間

## 2 歯科保健

歯及び口腔の健康づくりを推進するため、委員会の開催や地域で活動する人材育成を行った。また、う蝕や歯周疾患の予防のための事業及び障害のある方や在宅療養者等の方に対しては、合わせて摂食機能発達支援等も実施した。

また、今年度新たに、口腔ケアに係る地域連携を推進するため、モデル病院の看護職員を対象に、地域口腔ケア連携推進事業を実施した。

### (1) 重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業

市町が実施している幼児歯科健診事業と連携し、重度う蝕につながるリスク要因を保持すると思われる幼児を早期に把握し、う蝕の多発・重症化を抑制するための歯科検診、保健指導及び予防処置等を実施し、リスク要因の低減化を図った。

#### ア 歯科検診・予防処置等の実施状況

(単位:人)

実施回数	受診者数(延)			予防処置者数(延)			
	計	初診数	再診数	計	フッ化物	フッ化物夜みがき	フッ化ジアンミン銀
44	310	112	198	307	235	25	47

#### イ 初診者の把握経路

(単位:人)

市町名	計	市町事業				保健福祉事務所事業
		1.6歳児	2歳児	歯科教室・相談	その他	
計	112	35	47	26	3	1
南足柄市	46	12	18	15		1
中井町	2	1	1			
大井町	17	6	8	2	1	
松田町	13	4	5	2	2	
山北町	16	9	5	2		
開成町	18	3	10	5		

#### ウ 初診者のう蝕り患状況

(単位:人)

市町名	計	う蝕あり	う蝕の疑い	う蝕なし
計	112	13	34	65
南足柄市	46	4	14	28
中井町	2	1	0	1
大井町	17	1	5	11
松田町	13	2	3	8
山北町	16	1	7	8
開成町	18	4	5	9

## (2) 障害児等歯科保健事業

障害児等は歯科疾患にかかりやすく治療には困難を伴う場合も多いことから、早期から継続的に歯科検診・歯科保健指導・予防処置等を実施した。さらに摂食・嚥下機能発達の支援が必要な児への「食べる相談」も行った。

### ア 歯科検診・予防処置等の実施状況 (単位:人)

実施回数	受診者数		実施内容内訳(延数)					
	実人数	延人数	口腔内診査	歯科保健指導	予防処置	摂食相談・指導	その他	
個別	25	31	79	70	69	42	11	3
集団	6	32	45	45	45			
計	31	63	124	115	114	42	11	3

個別実施のうち一回は専門医による専門摂食機能相談会(4名参加)。また、その他は栄養士・保健師指導

### イ 年齢別受診状況

区分	合計	6歳以下	7～19歳	20歳以上
初診	37	37		
再診	85	77	8	

## (3) 歯周疾患予防対策事業(歯ぐき検診)

歯周疾患を予防するために、成人(主に妊産婦)を対象に歯ぐきの検診、保健指導、歯みがき指導を行った。

### ア 歯科検診・保健指導 (単位:人)

実施回数 (回)	受診者数		
	計	男性	女性
11	27		27

### イ 疾患状態別状況(初診) (単位:人)

年齢区分	計	健康	歯肉出血	歯石着	浅いポケット	深いポケット	機能喪失	その他
計	27	5	3	3	15	1		
20～29歳	6	1		1	4			
30～39歳	18	3	3	1	11			
その他	3	1		1		1		

#### (4) 在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業

在宅療養者の自立と介護支援の一環として、QOL(生活の質)の向上をめざした口腔内清掃や、口腔諸機能の維持・回復を図る機能訓練などの口腔ケアを訪問して行った。

##### ア 訪問状況

(単位:人)

訪 問 者 数							延 従 事 者 数	
実人数	延 人 数						歯 科 医 師	1
	計	6歳以下	7~19歳	20~39歳	40~64歳	65歳以上	当所歯科衛生士	3
2	3	3					委嘱歯科衛生士	

##### イ 疾患別訪問状況

(単位:人)

市町名	計	慢性疾患児・障害児	特定疾患	脳血管疾患後遺症	認知症	その他
計	2(3)	2(3)				
南足柄市						
中井町						
大井町	1(2)	1(2)				
松田町						
山北町						
開成町	1(1)	1(1)				

実人数(延人数)

#### (5) 歯及び口腔の健康づくり推進委員会

「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例」に基づき、管内の歯及び口腔の健康づくりにかかる事項について関係機関・団体等と検討、協議して、管内における歯及び口腔の健康づくりに関する事業の効果的かつ円滑な推進を図るため、委員会を開催した。

##### ア 歯及び口腔の健康づくり推進委員会・小委員会開催状況

(単位:人)

区分	開催日	内 容	出席者数
小委員会	平成27年11月27日	1 足柄上地域の歯科保健事業について 2 管内における県計画の前期推進方針の進捗状況について 3 管内における摂食機能発達支援体制の充実について 4 その他	11
委員会	平成28年2月4日	1 足柄上地域の歯科保健事業実施状況について 2 足柄上地域における神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画の取り組み状況について 3 摂食機能発達支援体制の充実について 4 在宅療養者等の口腔ケアにおける地域連携の推進について 5 その他	14

(6) 歯の健康づくり事業(健口かながわ5か条の普及)

生涯にわたる歯と口腔の健康を保持増進するために、子どもから高齢者まで全ての世代に共通し、県民自らが取り組む行動目標として掲げた「健口かながわ5か条」を、健康教育及び歯科保健指導時に合わせて、リーフレット等を用いて普及啓発を行った。

(単位:人)

普及対象	母子	学童・生徒	成人	老人	その他	不明	総計
普及人数	87		6	131	118	67	409

(7) 8020運動推進員養成事業

神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例に基づき、8020運動をはじめとする歯及び口腔の健康づくりを推進するために養成された8020運動推進員に対し、管内市町及び関係機関・団体等と連携して、推進員が自主的な活動を円滑に実施できるよう育成研修を実施した。

ア 8020運動推進員養成研修受講状況(健康増進課主催)

(単位:人)

市町名	南足柄市	中井町	大井町	松田町	山北町	開成町	計
受講者数	10	6				2	18

イ 8020運動推進員育成研修開催状況

(単位:人)

開催日	内容	講師	参加者数
平成27年 6月29日	1 お口の体操 2 お口の機能チェック 3 活動相談&活動紹介		8020運動推進員 7 足柄歯科衛生士会 2
平成27年 9月17日	1 活動相談&活動紹介 2 歯ぐき爽快ブラッシング		8020運動推進員 5
平成27年 10月30日	1 健口体操の基本と効果的な媒体の活用について 2 舌体操媒体の作成と練習 3 8020運動推進員養成研修受講修了証の授与	小田原歯科衛生士会会長 遠藤道代氏	8020運動推進員 11 市町保健師 2
平成27年 11月25日	1 「健口体操の楽しい伝え方」 ～プロのテクニックから学ぼう～ 2 8020運動推進員の活動紹介 3 グループワーク 「自分たちの活動の中における健口体操の普及方法について」	1 健康運動指導士 原 眞奈美氏 2 南足柄市 8020運動推進員 1名	8020運動推進員 16 市町保健師 1
平成28年 2月16日	1 「人前であがらずに話したり、お口の体操を披露するコツ」 2 活動報告会	1 (社)あがり症克服協会 理事長 鳥谷 朝代 氏 2 松田町 8020運動推進員3名 山北町 8020運動推進員3名	8020運動推進員 38 (管内25、管外13) 県職員 2 市町職員 2 足柄歯科衛生士会 4

## (8) 健康教育

ア 市町等からの依頼に応じて、健康教育を実施。

日時	区分	対象	参加者数	内容件数（複数計上）				
				う蝕予防	歯周病予防	口腔機能発達支援	高齢者・療養者口腔ケア	その他
平成27年6月18日	母子	開成町子育てフォーラム	17	1		1		
平成27年7月21日	老人	松田町おーい元気会	13		1		1	1
平成27年7月24日	老人	松田町おーい元気会	18		1		1	1
平成27年7月27日	老人	松田町おーい元気会	20		1		1	1
平成28年1月27日	成人	衛生委員会	12		1			1
平成28年3月 3日	母子	医療的ケアが必要な児の交流会	14			1		
計			94	1	4	2	3	4

## (9) 人材育成

ア 歯科保健に関する人材育成

(単位：人)

	実施回数	人数（延数）
足柄歯科衛生士会活動支援	2	34
専門摂食機能相談会	1	8
山北町健康普及員研修会	1	37
南足柄市元気サポーター養成講座	1	15
開成町健康普及員研修	1	12
食生活改善推進員養成講座	1	18
8020 運動推進員活動支援	7	12
新採用歯科衛生士歯科保健行政研修	2	4
計	16	140

## (10) 地域口腔ケア連携推進事業

病院を起点とした地域口腔ケア連携推進のため、地域歯科医師会の協力を得ながら、モデル病院の看護職員等を対象に口腔ケアに関する研修及び技術支援を行った。

ア 研修

(単位：人)

実施日	内容・講師	参加者数
平成27年 9月 7日 平成27年 10月 5日	1 講演「病院における口腔管理システムと口腔乾燥症への対応」 講師：神奈川歯科大学口腔外科 岩淵博史（准教授）	37
平成27年 9月 14日 平成27年 10月 22日	2 実習 口腔ケアの相互実習 講師：当所歯科医師・歯科衛生士、足柄歯科衛生士会 2名	30

イ ベッドサイドにおける口腔ケアの助言・指導（延数）

実施回数	助言・指導実施患者数	助言・指導実施看護職員数	見学者		助言者
			病院職員	地域関係者	
7	38	38	15		足柄歯科医師会 1名(3回) 足柄歯科衛生士会 1名(7回) 当所歯科職 2名(7回)

(11) 三歳児歯科健康診査結果(参考資料)

平成9年度より管内市町で実施している。

市町名 年度	対象者	受診率 (率)	う蝕り患 者数 (率)	う 歯 数			一人平 均う歯 数	う蝕の型別分類(人数)				
				総数	未処 置歯	処置 歯		A型	B型	C1型	C2型	D型 (再掲)
平成23年度	921	882 (95.8)	156 (17.7)	523	470	53	0.59	104	41	2	9	23
平成24年度	860	839 (97.6)	110 (13.1)	417	373	44	0.49	81	18	3	8	11
平成25年度	903	873 (96.7)	107 (12.3)	336	316	20	0.38	82	21	1	3	14
平成26年度	867	862 (99.4)	140 (16.2)	523	452	71	0.61	97	39		4	10
平成27年度	814	789 (96.9)	98 (12.4)	363	329	34	0.45	69	26	1	2	7
南足柄市	338	332 (98.2)	33 (9.9)	154	131	23	0.46	24	8	0	1	1
中井町	50	43 (86.0)	2 (4.7)	14	14	0	0.33	0	2	0	0	0
大井町	114	108 (94.7)	25 (23.1)	72	68	4	0.67	17	7	1	0	3
松田町	79	81 (102.5)	8 (9.9)	31	29	2	0.38	6	2	0	0	2
山北町	69	63 (91.3)	6 (9.5)	22	22	0	0.35	3	3	0	0	0
開成町	164	162 (98.8)	24 (14.8)	70	65	5	0.43	19	4	0	1	1

(注) う蝕の型別分類

- A 型 上顎前歯部のみ、または臼歯部のみとう蝕がある者
- B 型 上顎前歯部および臼歯部とう蝕がある者
- C1型 下顎前歯部のみとう蝕がある者
- C2型 下顎前歯部と他部位とう蝕がある者
- D 型 6本以上う蝕がある者(神奈川県独自で重度う蝕者として再掲する)

### 3 栄養改善活動

地域の総合的な栄養・食生活対策の推進を図るため、関係機関・団体等と連携し、地域食生活対策推進協議会を開催した。また、健康増進法に基づき、特定給食施設等に対し、給食運営や栄養管理の充実のため個別指導や講習会等を行うとともに、栄養表示の普及啓発に向け、栄養表示普及啓発講習会、食品製造業者を対象とした栄養表示適正化指導を実施した。

#### (1) 栄養・食生活対策事業

##### ア 栄養・食生活対策推進事業

地域における総合的な食生活対策の推進を図ることを目的に、地域食生活対策推進協議会、部会を開催した。

(ア) 地域食生活対策推進協議会・部会開催状況

(単位:人)

区分	開催日	内 容	参加者数
協議会	平成28年2月24日	・「食からの循環器疾患対策」 (1)今年度の事業実施報告 (2)食事の傾向に関するアンケート調査の解析及び施策への活用について (3)足柄上地域における方策の検討  管内各市町において進めている循環器疾患対策事業を、より効果的なものとするための基礎データについて、市町や関連団体の協力を得て、足柄上センターが提供した。	12
部 会	平成27年10月8日	・「食からの循環器疾患対策」 食事の傾向に関するアンケート調査について (1)実施状況について (2)解析・まとめ方について	6

##### 市町支援

管内市町の事業実施のための企画・業務等の支援を行った。

##### ・ 企画・業務支援

市町栄養業務連絡会議 ----- 2回

食生活改善推進員養成事業担当者連絡会議 ----- 3回

##### ・ 技術支援

食生活改善推進員養成講座支援 ----- 2回

足柄上郡心身障害児など地域訓練会 ----- 1回

(イ) 栄養・食生活対策支援事業

栄養改善をはじめとする健康づくりや生活習慣病予防などの普及啓発のために、食品や食生活に関する知識や実践技術の教育を行った。

区 分	集 団 指 導		
	回 数	参加者数	
職域等と連携した生活習慣病予防対策	1	90	事業所への出前講座
その他 栄養・食生活対策推進事業	1	69	食生活改善推進員ブロック別研修
〃	1	25	依頼講座(山北町元気で健康を楽しむ会)
〃	4	122	子どもグループ調理実習等
〃	2	35	1市5町食生活改善推進員養成講座
計	9	341	

(ウ) 地域人材の育成

地域栄養士等指導事業

地域で活動する在宅栄養士の指導等を行った。

区 分	開催回数	参加者数
在宅栄養士研修	8	62
行政栄養士等指導	6	8

地区組織等の育成

食生活改善推進団体「いくみ会」等のボランティアが組織的に活動を展開できるようリーダーの育成指導を行うとともに、資質向上のための研修会等の援助を行った。

区 分	開催回数	参加者数
食生活改善推進員リーダーの育成指導	11	662
地域リーダーなど育成指導	1	25

(エ) 管理栄養士の臨地実習指導

区分	コース数	学生数	期 間
臨地実習生 (管理栄養士等)	5	16	H27.5.11 ~ 5.15 保健福祉大学(3人) H27.6.8 ~ 6.12 鎌倉女子大学(4人) H27.9.14 ~ 9.18 文教大学(2人) H28.2.1 ~ 2.5 関東学院大学(3人) H28.2.15 ~ 2.19 相模女子大学(4人)

イ 専門的栄養指導・食生活支援事業

社会の変化に伴い、食生活や生活習慣に起因するところが大きい慢性疾患や長期療養の必要がある疾患が増加していることから、それらの疾病の重症化を予防し、生活の質の向上をめざした食事療法を実践するための教育、技術の改善を推進した。

(ア) 専門的栄養指導

各種疾病別栄養指導教室

疾病の予防、治療の両面から、食生活の正しい知識及び実践技術の指導を行った。

教室名	対象疾患名	コース数	延日数	延参加者数
糖尿病等食生活改善支援プログラム(生活保護受給者)	糖尿病合併症等	1	3	10
足柄上郡心身障害児等地域訓練会	障害児・者	1	1	13
医療的ケアの必要な児交流会	その他	1	5	71

食生活相談

疾病を有する患者等に対して、病状や生活状況に応じた個別相談を行った。

(単位:件)

疾病名	実人数	延人数	糖尿病合併症	脂質異常症・肥満合併症	ハイリスク児	高齢者等の低栄養	脳血管疾患	学童思春期・やせ	骨粗しょう症・高血圧	下痢・便秘等の胃腸症状
相談件数	35	326	5	33	26	136	9	2	2	113

(イ) 食生活支援担当者等研修会

地域での食生活支援に関わる行政職員や食生活改善推進員等に対し研修を行った。

実施日	実施内容
平成27年 6月23日	講演「給食施設で働くあなたに知っておいてほしい高血圧症の話」 講師 神奈川県立足柄上病院 循環器内科部長 常松尚志 氏 参加者 食生活改善推進員、市町関係者等 3名
平成27年 9月16日	講演「特定給食施設における災害時の食環境整備について」 講師 曽我病院 栄養科長 西宮弘之 氏 参加者 食生活改善推進員、市町関係者等 5名
平成28年 2月18日	講演「子どもを取り巻く食の現状～食を通して育つもの、育てたいもの～」 グループワーク 講師 相模女子大学 栄養科学部健康栄養学科 教授 堤ちはる 氏 参加者 食生活改善推進員、市町関係者等 9名
平成28年 2月24日	講演「データを活かした栄養・食生活対策事業について」 講師 神奈川工科大学 応用バイオ科学部栄養生命科学科 原島恵美子 氏 参加者 食生活対策推進協議会委員、市町関係者等 17名

ウ 栄養表示等適正化推進事業

(ア) 普及啓発講習会

区 分	集 団	
	回 数	人 数
消費者	8	219
その他 (神奈川県食の安全・安心基礎講座)	1	32
合計	9	251

(イ) 事業者に対する表示適正化指導（健康増進法）

区 内 容		分	健康増進法			合計
			特別用途食品	特定保健用食品	虚偽誇大表示	
事前相談・指導	件数		0	0	0	0
	延回数		0	0	0	0
適正化指導	件数		0	0	0	0
	延回数		0	0	0	0
	改善確認数		0	0	0	0

(ウ) 事業者に対する表示適正化指導（食品表示法）

区 内 容		分	食品表示法						合計	
			栄養表示			栄養機能食品		機能性表示食品		
			加工食品	生鮮食品	添加物	加工食品	生鮮食品	加工食品		生鮮食品
事前相談・指導	件数		5	0	0	0	0	0	0	0
	延回数		7	0	0	0	0	0	0	0
適正化指導	件数		0	0	0	0	0	0	0	0
	延回数		0	0	0	0	0	0	0	0
	改善確認数		0	0	0	0	0	0	0	0

(エ) 消費者からの相談 0件

(オ) 表示食品調査 0件

(カ) 立入調査・収去（健康増進法・食品表示法） 0件

## (2) 特定給食等指導事業

健康増進法・県条例等に基づき、給食施設に対して栄養管理等の上で必要な援助、指導を行い、喫食者や職員などの生活習慣病予防対策の推進や、健康・栄養教育の支援を行い、地域の健康づくりを推進した。

### ア 特定給食施設等講習会・種別講習会

給食施設の従事者、管理者等を対象に衛生管理、栄養管理等に関する認識を深め、給食を通して給食利用者の健康増進を図るため講習会を実施した。

区分	実施回数	開催日	参加施設数	参加者数	内 容
計	2	-	104	125	-
全体講習会	2	平成27年 6月23日	73	92	・講演「給食施設の衛生管理について」 講師 当所 生活衛生課 食品衛生監視員 ・講演「給食施設で働くあなたに知っておいてほしい高血圧症の話」 講師 神奈川県立足柄上病院 循環器内科部長 常松尚志 氏
		平成27年 9月16日	31	33	・「特定給食施設における災害時の食環境整備について」 講師 曽我病院栄養科長 西宮弘之 氏

注 特定給食施設...1回100食以上又は1日250食以上の食事を供給する施設(健康増進法第20条第1項)

### イ 健康増進法第18条第1項第2号に基づく給食施設指導

(単位:件)

	対象施設数	内 訳				指導回数計
		管理栄養士のみ	管理栄養士及び栄養士	栄養士のみ	未配置施設	
指 定 施 設 必 置	学 校					
	病 院	2	1	1		2
	介護保健施設					
	老人福祉施設					
	児童福祉施設					
	社会福祉施設					
	事 業 所	3	3			3
	寄 宿 舎					
小 計	5	4	1		5	
1日750食以上 1回300食以上又は 指定施設を除く)	学 校	16	5	1	10	16
	病 院	1		1		1
	介護保健施設					
	老人福祉施設					
	児童福祉施設					
	社会福祉施設					
	事 業 所	3			2	3
	寄 宿 舎				1	
小 計	20	5	2	12	20	

1日250食以上 1回100食以上又は 指定施設を除く)	学 校	5	2		3		5
	病 院						
	介護保健施設	3	1	2			3
	老人福祉施設	3		3			4
	児童福祉施設	10			8	2	10
	社会福祉施設	2	1			1	2
	事 業 所	6			1	5	7
	寄 宿 舎						
	小 計	29	4	5	12	8	31
その 他 の 給 食 施 設	学 校	4			1	3	4
	病 院	2		2			2
	介護保健施設						
	老人福祉施設	4	1	1	1	1	6
	児童福祉施設	4	1		1	2	4
	社会福祉施設	2			1	1	2
	事 業 所	9		1	1	7	9
	寄 宿 舎	4				4	5
	そ の 他	5			2	3	5
小 計	34	2	4	7	21	37	
合 計	88	15	12	31	30	93	

注 管理栄養士必置指定施設

- 1 医学的な管理を必要とする者に食事を供給する特定給食施設であって、継続的に1回300食以上又は1日750食以上の食事を供給するもの(病院、介護老人保健施設)
- 2 1以外の管理栄養士による特別な栄養管理を必要とする特定給食施設であって、継続的に1回500食以上又は1日1,500食以上の食事を供給するもの(福祉施設、事業所等)

### (3) 地域保健活動推進者研修事業

ア 地域保健活動推進研修(食育研修)

地域において、食育及び栄養・食生活対策を推進する市町及び関係機関・団体等の栄養士等を対象に研修を実施した。

開催日	主 な 内 容	参加者数	対 象 者
平成28年 2月18日	・講演 「子どもを取り巻く食の現状 ～食を通して育つもの、育てたいもの～」 講師 相模女子大学 栄養科学部 健康栄養学科 教授 堤ちはる 氏	24	地域の食育担当者、 給食施設の関係者、 行政機関の食育関係 者等

(単位:人)

#### (4) 栄養情報の収集とその活用

##### ア 国民健康・栄養調査、県民健康・栄養調査

調査地区	調査日	調査対象世帯数	調査実世帯数	調査内容
中井町 井ノ口	平成 27 年 11 月 9 日～10 日	25(64 名)	19(44 名)	栄養摂取状況調査、生活習慣調査、身体状況調査

##### イ その他 調査・研究

調査・研究名	内容(目的、方法、成果等)
食事の傾向に関するアンケート調査	<p>【目的】足柄上センター管内の住民等の食事の傾向を把握することにより、行政等が栄養・食生活対策事業をより効果的に実施するための基礎データを得ることを目的とする。</p> <p>【対象・方法】管内の市町、食生活改善推進団体いくみ会、足柄上センター等が実施する事業に参加する対象者や足柄上センター管内の特定給食施設の利用者等に対して、平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 1 月 28 日まで調査票を配布し、回収した。</p> <p>【回収数】配布 8,969 回収 6,909 回収率 77.0% 有効回答数 6,182</p> <p>【データ解析】神奈川工科大学所属の協議会委員の協力を得て、SPSS で解析。</p> <p>【成果】管内各市町において進めている循環器疾患対策事業を、より効果的なものとするための基礎データについて、市町や関連団体の協力を得て、県(足柄上センター)が提供した。配布・回収は市町と関連団体、県が連携して行い、集計・解析は県という役割分担を検討し、相互の連携を図りながら進め、管内全体で取組みを進めることが出来た。</p> <p>偏りなくデータを集めるよう工夫した結果、非常に多くのアンケートを回収し、市町ごとにデータの解析を行うことが出来た。その結果は、市町それぞれの特徴が現れたものとなり、協議会においても委員からの反響が大きく、効果的な取組に役立てられるデータをお返しすることが出来た。</p> <p>調査データについては、食生活支援担当者等研修会を協議会と同時開催することで、解析に協力いただいた協議会委員から直接講義していただき、効果的に栄養・食生活対策事業に活かしていくための知識、技術の習得をすることが出来た。(テーマ)「データを活かした栄養・食生活対策事業について」</p>

## 4 救急医療啓発事業

救急法に関する知識と応急手当の実技講習会を開催し、不慮の事故を防止し、とっさの時に役立つ知識と技術を身に付ける機会とした。

(単位:人)

開催日	内容	講師	対象	参加者数
平成 27 年 9 月 10 日	「いざというときにあわてないために」 実習:救急法の実際 (AED、心肺蘇生法等)	小田原消防本部 足柄消防署職員	介護事業所 合同庁舎職員	36
平成 27 年 12 月 4 日	「子どもに起こりやすい事故とその対応」 乳幼児の事故予防と応急手当 心肺蘇生法 AED の実技	昭和大学病院小児 救急看護認定看護師 飯村 知広 氏 安藤 美奈子氏	幼稚園・保育園・子 育て支援センター 職員・ファミリーサポ ートセンター職員・ 保健師	21

## 5 がん・健康増進

「神奈川県がん対策推進計画」を踏まえ、がん検診受診率の向上を目指し、地域のニーズや実情に応じて企業や県民にがん、担当者会議や普及啓発を実施した。

### (1) 健康増進事業、特定健診・特定保健指導担当者会議

管内における健康増進・高齢者保健福祉施策の効果的かつ円滑な推進を図ることを目的に、担当者会議を実施した。

(単位:人)

開催日	内 容	参加者数
平成27年 5月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各市町及び保健福祉事務所における健康増進事業(がん検診、健康教育)について</li> <li>・ 足柄上病院におけるがん検診や健康教育について</li> <li>・ その他 たばこに関する取り組みについて</li> </ul>	14
平成28年 2月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各市町における健康増進事業(がん検診、健康教育)や特定健診・特定保健指導について</li> <li>・ 足柄上センターにおけるがん検診受診促進事業について</li> <li>・ 足柄上病院におけるがん検診や健康教育について ミニ講義「肝炎の治療はこうかわる」 講師 神奈川県立足柄上病院 院長 玉井拙夫 氏</li> </ul>	14

### (2) 健康増進事業の自己評価のヒアリング

市町の健康増進事業の自己評価のヒアリングを通して、地域の現状を把握し、必要時、健康増進事業が円滑に行えるように支援を行った。

実施日	内容	会場	出席者数		
			市町	当所	
平成27年 7月7日	健康増進事業の自己 評価に係るヒアリング	大井町町保健福祉 センター	大井町子育て健康課 2	保健福祉課 (課長・福祉 職・保健師)	
平成27年 7月8日		松田町町役場	松田町子育て健康課 2		
平成27年 7月10日		南足柄保健医療福祉 センター	南足柄市健康づくり課 2		
平成27年 7月10日		中井町保健福祉 センター	中井町健康課 3		管理企画課 (保健師)
平成27年 7月23日		山北町健康福祉 センター	山北町保険健康課 2		
平成27年 7月23日		開成町保健センター	開成町保険健康課 2		

### (3) がん検診普及啓発セミナー

がん検診受診率の一層の向上を目指して、市町、保健福祉事務所、NPO、関係団体等が協働して、がん検診受診の啓発活動を行った。

ア がん検診普及啓発キャンペーン

(単位:人)

開催日	内 容	参加者数
平成 27 年 6 月 4 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マンモグラフィー搭載検診車(ピンクリボン車)の見学</li> <li>・ 乳房しこり触診体験</li> <li>・ 市町のがん検診情報提供</li> <li>・ たばこ健康、唾液でわかる肺クリーン度チェック</li> <li>・ 特定健診、肌水分量測定</li> <li>・ スタンプラリー、アンケート</li> <li>・ アフラック等 CSR(企業の社会的貢献)の活用</li> </ul>	<p>102</p> <p>72</p> <p>70</p> <p>72</p> <p>74</p> <p>72</p>

イ がん検診普及啓発セミナー

(単位:人)

開催日	対 象	内 容	講 師	参加者数
平成27年 10月29日	地域で活動する団体・住民等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講演 「乳がん体験を通してのメッセージ」</li> <li>・ 講演「がん検診について」</li> <li>・ 講演及び体験 「笑う健康法～笑うヨガを体験しよう～」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳がん体験者コーディネーター(NPO 法人 がんサーネット・ジャパン認定)</li> <li>武岡 ひとみ 氏</li> <li>・当所保健師</li> <li>・Dr.カタリア・スクール・オブ・ ラフター・ヨガ認定ティーチャー 山田 さく 氏</li> </ul>	31

(4) 地域企業におけるがん検診受診促進事業

地域の企業、事業所等におけるがん検診の受診促進を図るため、既存事業や会議等を活用して、受診率の向上を目指しました。

ア 関係機関との連絡調整

健康増進事業1市5町ヒアリング、地域保健師業務連絡会議、管内介護保険担当国会議、健康増進事業・特定健診・特定保健指導担当国会議等

イ がん検診普及啓発用リーフレット(がん検診情報)の作成・配布

2市8町(足柄上センター・小田原保健福祉事務所管内)の協力を得て、各市町の検診項目・対象者・実施方法・連絡先等についてリーフレットとしてまとめ、啓発の際に配布した。

健康増進課作成の雇用主向け・従業員向けリーフレットを併せて配布しました。

ウ 既存事業を活用した集団指導による啓発

(ア) 食品衛生責任者講習会等

ミニ講話・リーフレット配布・スライドショーの放映等 25回 1543人

(内 ミニ講話 15回、スライドショー放映 13回、リーフレット配布 18回 )

(イ) 理美容業衛生講習会(1/26) 124人

(ウ) 全国労働衛生週間小田原地区推進大会(9/3) 189人

(小田原保健福祉事務所と合同実施)

エ スライドショー等を活用した普及啓発の実施

住民や職域分野の関係団体が参加する講習会、研修会等の待ち時間や休憩時間を活用し、がん検診及び禁煙啓発のスライドショーを上映した。  
食品衛生責任者講習会等 13回

オ 一般向けがん検診普及啓発用ポスターの配布

住民が一定の時間とどまって利用する職域の店舗や事業所に対して啓発用ポスターを配布した。介護保険事業所実地指導等の場を活用して、32ヶ所に配布。

カ 介護保険事業所実地指導時の個別面接による啓発

実施期間 平成27年7月16日～平成28年1月12日

実施状況 実地指導を行った24介護保険事業所のうち、21事業所32サービスで実施  
(保健師担当分)

方法等 事業主、責任者等に事業所におけるがん検診の実施状況を聞きながら、受診勧奨をする。全従業員に啓発用リーフレット等を451部配布。

キ 調査

介護保険事業所実地指導において個別面接による啓発をした事業所に、その後の取り組みについてアンケートを実施した。21事業所32サービスに実施し、19事業所30サービスから回答

(5) 糖尿病等食生活改善支援プログラム(生活福祉課主催)

疾病の予防、治療の両面から、望ましい日常生活の過ごし方等の助言を行った。

教室名	対象疾患名	コース数	延回数	延参加者数
生活保護受給者 糖尿病等食生活改善支 援プログラム	糖尿病合併症等	1	3	10

## 6 介護保険推進事業

介護給付対象サービスの質の確保と保険給付の適正化を図るため、介護保険指定事業者等の指導を行った。

(1) 事業者等指導

管内の老人保健施設や介護保険指定事業者等の施設、設備、人員及び運営状況等について、介護保険法に基づく指導を行った(医療系みなし指定事業所を除く)。

ア 集団指導

介護保険指定事業者等に対して、介護給付サービスの取扱い、介護報酬請求の内容、事業運営上の注意点等について、県介護保険課、同高齢施設課及び各保健福祉事務所・センターと共催で次のとおり講習会を開催した。なお、当所管内の事業所の参加状況は次のとおりだった。

開催日	対象事業所数	実施事業所数
平成27年5月8・12・14・15・19・20・21・28日	136(91)	136(91)

注 ( )書きは介護予防事業所で外数

イ 実地指導

介護保険指定事業者等の事業所において、指定基準等に基づいて、帳簿類等関係書類の閲覧や関係者からの面談による実地指導を実施した。

介護保険施設等の区分	対象事業所数	実施事業所数
計	136(91)	43(27)
指定訪問介護事業	16(16)	5(5)
指定訪問入浴介護事業	2( 2)	2(2)
指定訪問看護事業	7( 7)	
指定訪問リハビリテーション事業	1( 1)	
指定通所介護事業	41(37)	12(12)
指定通所リハビリテーション事業	3( 3)	
指定短期入所生活介護事業	8( 8)	3(3)
指定短期入所療養介護事業	3( 3)	
指定特定施設入居者生活介護事業	5( 4)	1(1)
指定特定福祉用具貸与事業	5( 5)	2(2)
指定特定福祉用具販売事業	5( 5)	2(2)
指定居宅介護支援事業	31	13
指定介護老人福祉施設	6	3
介護老人保健施設	3	

注1 ( )書きは介護予防事業所で外数

注2 対象事業所数は、平成27年4月1日現在

ウ 介護保険指定事業者研修会の実施

介護保険事業者がその事業に関する知識を深めるため、研修会を実施した。

(単位:人)

開催日	内 容	参加者数
平成27年9月10日	救急法講習会	36

エ 県・市町介護保険担当者会議

(単位:人)

開催日	内 容	参加者数
平成27年6月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度介護保険実地指導結果について</li> <li>・平成27年度介護保険実地指導計画(案)について</li> <li>・小規模な通所介護事業所の地域密着型サービスへの移行に係る課題等について</li> <li>・平成27年度介護職員等を対象とする研修について</li> <li>・情報交換等</li> </ul>	16

## 7 地域福祉事業

### (1) 民生委員児童委員

民生委員児童委員は、社会奉仕の精神を持って、自主的に社会福祉の増進に努めるとともに、公的援護の実施に協力することを本来の使命としており、その活動を強化するため、各種の会議、助成を実施した。

#### ア 民生委員児童委員活動状況

区分 市町名	民生委員児童委員 委員定数	相談件数	活動件数	訪問回数
平成 25 年度	229 (14)	4,746	29,109	45,582
平成 26 年度	229 (14)	3,619	33,415	49,155
平成 27 年度	231 (14)	3,562	32,194	52,720
南 足 柄 市	61 (4)	1,790	7,970	13,792
中 井 町	25 (2)	120	3,589	6,918
大 井 町	38 (2)	455	7,004	7,186
松 田 町	37 (2)	391	4,288	7,589
山 北 町	37 (2)	265	4,768	9,689
開 成 町	33 (2)	541	4,575	7,546

注 ( )内は主任児童委員で内数 平成 25 年度定数は平成 25 年 12 月 1 日以降

#### イ 代表者会議の開催

管内民生委員児童委員の役員等に情報提供等を行った。

開催日	内 容
平成 27 年 4 月 16 日	保健福祉事務所足柄上センターの業務の情報 ・要援護者安否確認の情報提供のしくみづくり ・神奈川県地域福祉支援計画について
平成 27 年 9 月 28 日	保健福祉事務所足柄上センターの業務の情報 ・がん検診普及啓発セミナーの情報提供 ・権利擁護ネットワーク研修(県西障害福祉圏域 自立支援協議会)の情報提供
平成 27 年 11 月 24 日	保健福祉事務所足柄上センターの業務の情報 ・足柄上地域の民生委員児童委員の活動状 況について(平成 26 年度統計より)

## (2) みんなのバリアフリー街づくり条例の普及啓発

神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例および、圏域別普及・啓発事業の実施要領に基づき、誰もが安心して生活できる福祉のまちづくりを推進するため、次世代を担う児童を対象とした事業を企画した。

交通バリアフリーを切り口に、児童が体験を通じて感じたことや、これから自分たちにできることを考え、ともに生きることのできる社会について考える機会となるよう、学童保育利用の小学生を対象にバリアフリー出前体験講座を小田原市足柄下郡、南足柄市足柄上郡各1ヶ所で開催した。県西保健福祉圏域の学童保育に公募し、応募中当選した2ヶ所の学童保育にて開催した。

開催日	内 容	講 師	参加者
平成 27 年 8 月 11 日	バリアフリー出前体験講座 (小田原市・早川小学校学童保育対象) [県西保健福祉圏域事業 / 小田原保健福祉事務所主催]	公益財団法人交通エ コロジー・モビリティ 財団 バリアフリー推進部職 員	小田原市・早川小学 校学童保育在籍児童 9 名
平成 27 年 8 月 17 日	バリアフリー出前体験講座 (開成町・学童保育所サンチャ イルドクラブ第2学童対象) [県西保健福祉圏域事業 / 小田 原保健福祉事務所主催]	公益財団法人交通エ コロジー・モビリティ 財団 バリアフリー推進部職 員	開成町・学童保育所 サンチャイルドクラブ 第2学童児童 33 名

## (3) 地域福祉の推進(地域福祉コーディネーター事業)

地域福祉の推進のため、地域福祉コーディネーター養成研修を実施した。

開催日	内 容	講 師	参加者
平成 27 年 8 月 10 日	「中井町民生委員児童委員地域福祉コー ディネーター養成研修」 ・地域福祉コーディネーターの考え方 ・地域でのコミュニケーションの必要性を 考えて見ましょう ・地域の課題を実際に考えて見ましょう ・まとめとコメント [小田原保健福祉事務所足柄上センタ ー、中井町共催]	県地域福祉課職員 当所保健福祉課職員 (協力; 中井町社会福 祉協議会、同町地域包 括支援センター)	中井町民生委員児童委 員、中井町地域福祉関 係団体、ボランティア、一 般町民等 34 名
平成 27 年 8 月 28 日	「開成町立開成南小学校教職員研修へ の地域福祉コーディネーター養成研修プ ログラム(HUG 体験研修プログラム)の提 供」	開成町立開成南小学 校教頭 当所管理企画課職員 当所保健福祉課職員	開成町立開成南小学校 教職員 26 名

<p>平成 27 年 11 月 11 日</p>	<p>「松田町民生委員児童委員協議会研修 への地域福祉コーディネーター養成研修 プログラム(HUG 体験研修プログラム)の 提供」</p> <p>[小田原保健福祉事務所足柄上センタ ー、松田町共催]</p>	<p>当所管理企画課職員 当所保健福祉課職員</p>	<p>松田町民生委員児童委 委員(主任児童委員長2 名を含む) 35 名</p>
<p>平成 27 年 11 月 11 日</p>	<p>平成 27 年度在宅医療推進事業・地域福 祉コーディネーター事業 東京都国立市の在宅医療推進のための 取組みから考える 地域住民のためにで きること～認知症ケアを中心に」</p> <p>[県西保健福祉圏域事業 / 小田原保健 福祉事務所、小田原保健福祉事務所足 柄上センター主催、小田原市、南足柄 市、中井町、大井町、松田町、山北町、 開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町共 催]</p>	<p>国立市健康福祉部地域包 括ケア推進担当課 大川 潤一</p>	<p>県西保健福祉圏域の行 政機関職員、関係専門 機関等の職員 53 名</p>
<p>平成 28 年 1 月 27 日</p>	<p>平成 27 年度在宅医療推進事業・地域福 祉コーディネーター事業 「地域で、家で、自分にできること」</p> <p>第1部 県西地域での活動紹介 第2部 講演 「さあ、できることから始めよう！」</p> <p>[県西保健福祉圏域事業 / 小田原保健 福祉事務所、小田原保健福祉事務所足 柄上センター主催、小田原市、南足柄 市、中井町、大井町、松田町、山北町、 開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町共 催]</p>	<p>弁護士・公益財団法人さ わやか福祉財団会長 堀田 力</p> <p>介護予防サポート隊(南足 柄市) 斉藤 幸子</p> <p>ささえあい久野ひまわりの 会(小田原市) 久保寺 征一</p>	<p>県西保健福祉圏域在住 の県民等 115 名</p>
<p>平成 28 年 3 月 30 日</p>	<p>平成 27 年度在宅医療推進事業・地域福 祉コーディネーター事業 「県西地域の在宅医療・介護を考える～ 『安心して住み慣れた我が家で最後まで』 を支えたい！」</p> <p>第1部 講演 「安心と信頼を身近な地域で～医療と 介護のかかわり、共同体性のためにで きること」 第2部 ディスカッション ～地域の現状と活動から、今後の活動 を会場と共に考えよう</p> <p>[小田原保健福祉事務所足柄上センタ ー主催、一般社団法人足柄上医師会、南 足柄市、中井町、大井町、松田町、山北 町、開成町共催]</p>	<p>全国在宅療養支援診療所 連絡会会長、 医療法人社団つくし会理 事長・新田クリニック院長 新田 國夫</p> <p>足柄上医師会会員 医療法人仁和会 まえか わクリニック 院長 前川 出</p> <p>足柄上医師会会員 医療法人社団 鈴木医院 院長 鈴木 哲</p>	<p>県西保健福祉圏域の医 療・介護関係職種、行政 機関職員等 73 名</p>

## 8 母子父子寡婦福祉資金の貸付

母子家庭等の経済的自立と生活の安定のため、母子、父子及び寡婦福祉資金の貸付けを行った。

(単位:件)

区分		計	事業開始	事業継続	技能習得	就職支度	住宅	転宅	医療介護	生活	修学	就学支度	修業	結婚	児童扶養
市町名															
計	母子	30	0	0	1	0	0	0	0	1	18	10	0	0	0
	父子	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	寡婦	3	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0
南足柄市	母子	16								1	9	6			
	父子														
	寡婦	1									1				
中井町	母子	1									1				
	父子	1									1				
	寡婦	1										1			
大井町	母子	6									5	1			
	父子	0													
	寡婦	0													
松田町	母子	2			1						1				
	父子	0													
	寡婦	0													
山北町	母子	2									1	1			
	父子	0													
	寡婦	1								1					
開成町	母子	3									1	2			
	父子	1										1			
	寡婦	0													